

納入事例

松竹ショウビズスタジオ株式会社 様

KLANG:technologies 「vokal」 「kontroller」

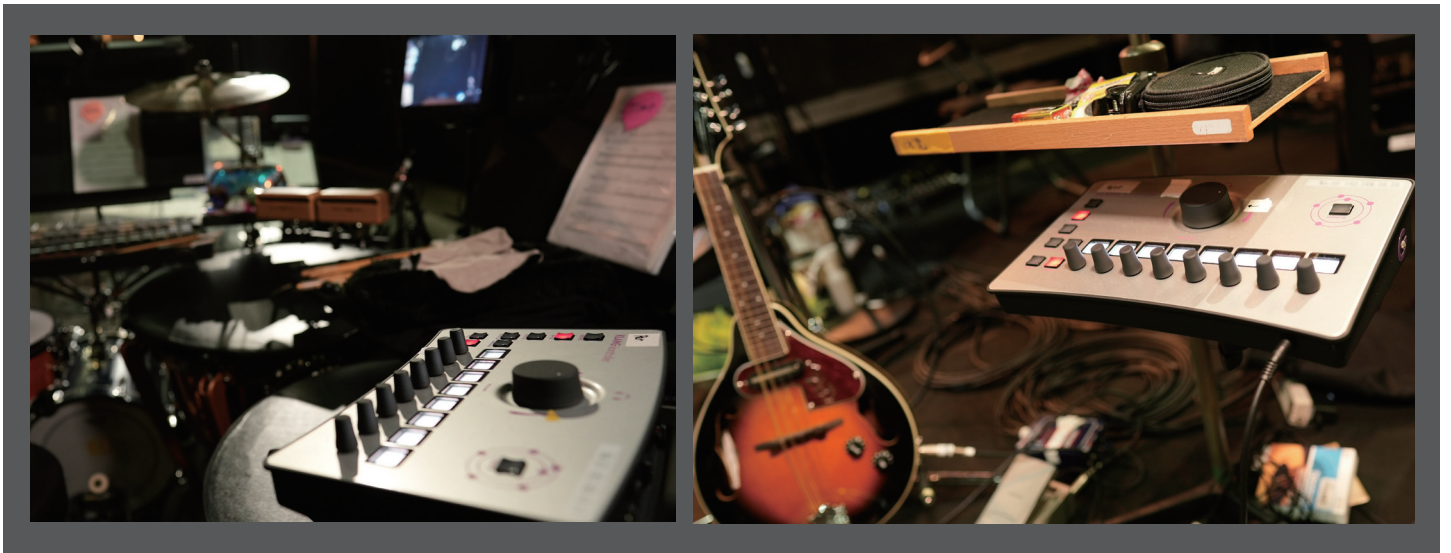
2023年10月 運用開始

松竹ショウビズスタジオ株式会社様は、音響業務、劇場管理、スタジオ録音、音楽制作、音源編集など多岐にわたる音の仕事に携わっています。松竹のグループ会社の一翼として、歌舞伎座をはじめ新橋演舞場、関西の南座、大阪松竹座、新歌舞伎座など数多くの舞台の音響業務を担っており、文化の継承に貢献されています。

このたび劇場内のオーケストラピットで使用される指揮者とプレイヤー用のパーソナルモニターとして、KLANG:technologies の「vokal」と「kontroller」が納入されました。vokalは、イマーシブ・インイヤーマニタリングを高性能なレベルで実現するミキシングプロセッサです。各プレイヤーの手元にある kontroller は、明快な操作感で個々人の好みに合わせた設定が可能、かつ 96kHz の高音質なイマーシブ・サウンドを提供します。

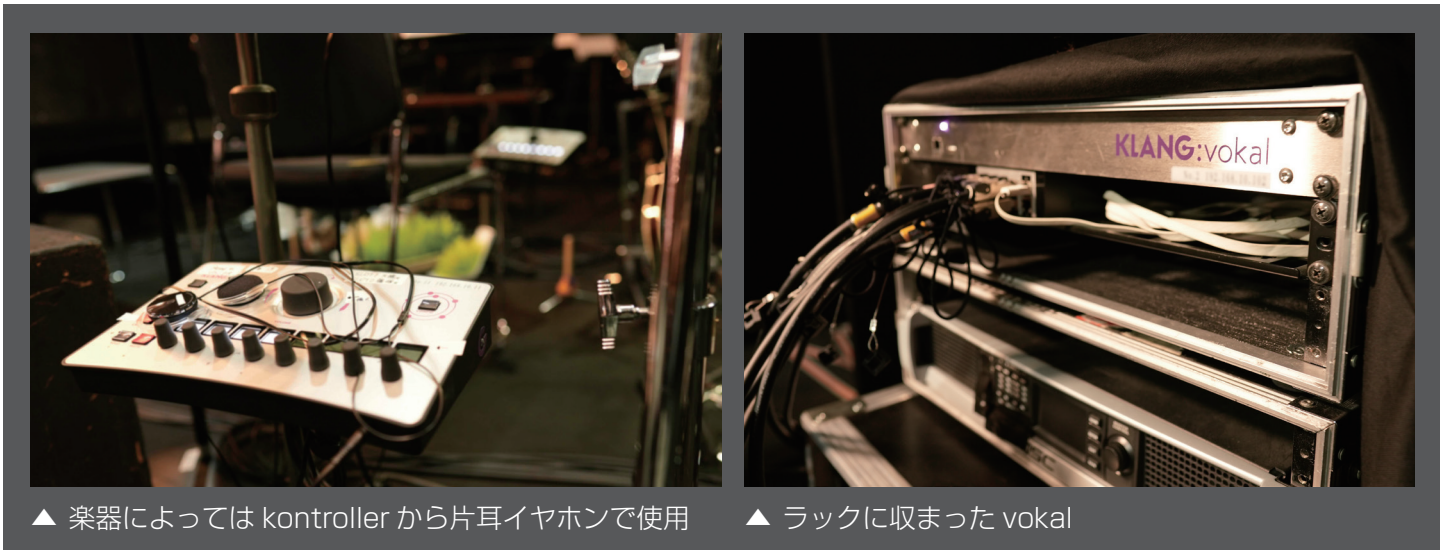


▲ オーケストラピット内、各プレイヤーにセットされた KLANG:technologies 「kontroller」 Strings、Brass、WoodWind、Perc.、Gtr. など合計 22 台が使用されている。



現場を取りまとめているサウンドエンジニアの後上 裕一さんにお話をうかがいました。

「KLANG のこのシステムは、セッティングが素早くできる点がとても良いです。本番現場に持っていく前にプリセッティングさえしておけば、現場では仕込みの時と同様に接続するだけです。これまでのキューシステムと比較しても遜色ないですし、DANTE 伝送でなおかつ PoE 給電で kontroller を駆動できるのも良い点の一つです。kontroller についても、プレイヤーは混乱するようなこともなく操作できているようですね。チャンネル設定についても、現地で『app(リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア：ダウンロードフリー)』からすぐに対応できるので、ユーザーライクでいいですね。」と、コメントをいただきました。



▲ 楽器によっては kontroller から片耳イヤホンで使用

▲ ラックに収まった vokal

●主要な納入機材

機材	ブランド名	製品名
イマーシブ・インイヤーマニター・ミキシングプロセッサ	KLANG:technologies	vokal
パーソナルモニター用ハードウェア・コントローラー	KLANG:technologies	kontroller

▶松竹ショウビズスタジオ株式会社

〒104-0045
東京都中央区築地4丁目1番1号 東劇ビル6F
TEL:03-6264-3815
URL : <https://www.sbs-k.jp/>



●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノマーケティング Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5419-1550
TEL : 03-5419-1560

HIBINO hibino Group